

2023年6月13日

教職員、学生各位

日本赤十字九州国際看護大学

## 大学における Chat GPT 等 AI の活用に関する指針

標記のことについて、現時点の大学としての対応方針を下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### Chat GPT 等の生成系 AI と向き合う姿勢

Chat GPT 等の生成系人工知能(AI) (以下、「生成系 AI」という。) 技術を使ったサービスは、革新的な進化を続け、教育研究の場を含め広く社会で有効に利用されています。これらの生成系 AI を適切に活用することができれば、人々の創作活動の一部を補完し、我々の社会活動は大きく変革する可能性があります。もちろん病院での利活用等、保健分野においてもその限りではありません。一方で、生成系 AI には不正確な情報提供等の技術的な課題や、不適切な利用に基づいた学習の阻害など、いくつかの問題点も指摘されています。加えて、今後こうした生成系 AI が人々の生活に根付くにつれ、大きな倫理的な課題が生じる可能性もあります。例えば、人工知能が自律的に意思決定を行う場合、その決定によって人権や倫理的価値観が侵害される可能性などがそれにあたります。そのため我々、日本赤十字九州国際看護大学の学生や教職員が生成系 AI にどのように向き合うべきか、ともに試行錯誤していく必要があります。

#### レポート、実習記録、論文等における生成系 AI の使用制限

大学においては、学生自身が事象を客観的に考察し、主体的に課題を解決する思考力や、自らの考えを他者に説明する能力を養うことが大切となります。生成系 AI の不適切な利用は、それらの能力習得に支障となる可能性があります。よって、レポート、実習記録、論文等の課題において、生成系 AI の生成した文章をそのまま使用することは不正行為にあたる場合がありますので、十分に注意してください。なお、教員より生成系 AI の使用に関する指示がある場合は、それに従ってください。

#### Chat GPT 等 AI の倫理的な使用について

生成系 AI を利用する場合は、以下のようなことに注意する必要があります

1. 生成系 AI によって生成された偽の情報や倫理的に問題のある情報が広まることも懸

念されます。そのため生成系 AI 使用にあつて、自身で情報の信憑性を確かめ、客観的に考察する必要があります。

2. 生成系 AI へ送信した質問の文章も、システムに蓄積され学習される可能性があります。したがつて、送信した内容を他者が引き出すことも可能となります。そのため業務で知り得た機密情報、未公開の発明内容、研究費などの申請内容、入学試験問題の原稿、個人情報などは質問に含めてはいけません。

3. 生成系 AI では、入力された情報やインターネット上のコンテンツを取り込んで学習し、文章や画像を生成しています。これらの元となる著作物を作成した著者が、知らないうちに著作権を侵害されたとして訴訟の対象になる可能性があるかもしれません。

4. 生成系 AI を利用禁止とするだけでは問題は解決しないことが予想されます。そのため生成系 AI の活用にあつては、社会的な影響や倫理的な問題について、教育や議論を通じて理解を深めることが重要になります。

### 大学としての今後の対応について

こうした生成系 AI を取り巻く技術の進歩や社会状況は、今後も目まぐるしく変化していくことが予想されます。大学としては、今後も継続的に国内外の高等教育機関の事例収集、社会的な活用事例や学内での意見聴取等を行い、教育や社会的な活用も含め適宜見直しや検討を続けていきます。

以上